

要件事項	<p><Air-NACCS/Sea-NACCS 共通> パッケージソフト「ログオン中での電文移動可能化」</p>
機能概要	<p><変更前仕様> 古い電文の移動について、ログオフをしなければ電文を戻すことができない。</p> <p><変更後仕様> ログオン中でも、古い電文移動ができるようにする。</p>

1. 変更内容

ログオン中でも、「古い電文の保管」がされている電文を「古い電文の送受信電文一覧表示」することを可能とする。

詳細は、別紙参照。

現行パッケージソフトでは、ログオン中の即時電文取出等と「古い電文の送受信電文一覧表示」との間で送受信電文一覧の更新が競合するのを避けるため、「古い電文の送受信電文一覧表示」の前提条件を”ログオフ状態”としている。

当改変で、「古い電文の送受信電文一覧表示」を処理する際には送受信電文一覧の更新をロック（排他制御）するように、パッケージソフトを変更する。

2. 特記事項

全パッケージソフトの利用者様において、バージョンアップが必要となります。

7.13.8 古い電文(保存期限切れの電文)の保管

保存期限の最大値(99 日)が経過している古い(保存期限切れの)電文データファイルの情報を送受信電文一覧のインデックスファイルから削除(送受信電文一覧から削除)して、保存期限切れの電文データファイルを送受信電文一覧フォルダ“DataView”とは別のフォルダで保管する。

(1) 起動条件

パッケージソフト起動時

(2) 保存期限切れの判断とインデックスファイルからの削除

送受信電文一覧のインデックスファイル内に登録されている電文データファイル名の後ろ14桁(日時*)が保存期限(「7.2.2(7)保存期限」参照)の最大値(99 日)を経過した電文データファイルの情報を、インデックスファイルから削除する。

(*例) 2007220110816160309.txt

対象の電文データファイルは、以下のフォルダ内の電文となる。

- ・ 受信
- ・ 送信済み
- ・ ごみ箱

(3) 保存期限切れの電文データファイルの保管と削除

保存期限切れの電文データファイルは、“PastDataView”フォルダ配下に年月単位の退避フォルダを作成し、ファイル名の後ろ14桁(日時)に対応した退避フォルダに移動する。

対象の電文データファイルは、以下のフォルダ内の電文となり、ごみ箱内の電文データファイルは削除する。

- ・ 受信
- ・ 送信済み

(4) 進捗状況

処理中には進捗ダイアログにより処理の進捗状況を表示する。

[中断]ボタンを押下すると、保管処理は中断される。中断された処理は次回パッケージソフト起動時に継続されることになる。中断の前には、確認メッセージで中断するかの間合せを行う。

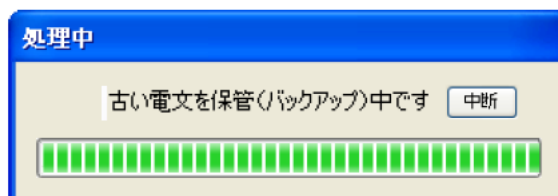


図 7-32 古い電文保管の進捗ダイアログ

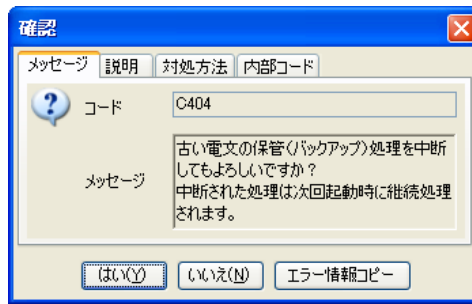


図 7-33 古い電文保管の中断確認メッセージ

表 7-25 古い電文保管の中断確認メッセージボタン一覧

項番	ボタン名	説明
1	はい	古い電文の保管（バックアップ）処理を中断する。
2	いいえ	古い電文の保管（バックアップ）処理を継続する。

7.13.9 古い電文(保存期限切れの電文)の送受信電文一覧表示

[古い電文一覧]画面にて検索・選択した古い電文(保存期限切れの電文(“PastDataView”フォルダ内の電文))を、送受信電文一覧に表示する。

対象の電文データファイルは、以下のフォルダ内の電文となる。

- ・ 受信
- ・ 送信済み

※古い電文を送受信電文一覧に表示した場合でも、次回パッケージソフト起動時には保存期限切れとなり送受信電文一覧からは削除される(送受信電文一覧とは別保管となる)。送信済み電文を“データ登録”すれば、“送信対象”フォルダに登録される。

(1) 起動条件

メインメニュー[オプション | 古い電文の一覧表示]を選択する。

(2) 入出力項目

[古い電文一覧]画面は、メイン画面(送受信電文一覧)とは別ウィンドウに表示する。
指定された年月の電文データファイルの情報を一覧に出力する(古い電文全ては出力しない)。



図 7-34 [古い電文一覧] 画面のイメージ

表 7-26 入力項目表

項番	項目名	必須	入力形式	入力チェック
				チェック条件
1	対象年	M	送受信電文一覧に表示したい古い電文の送受信年を指定する。 プルダウンメニューは、古い電文データファイルの退避フォルダ名に存在する年とする。	4桁の半角数字であること
2	対象月	M	送受信電文一覧に表示したい古いプルダウンメニューは、古い電文データファイルの退避フォルダ名に存在する月とする。	2桁の半角数字であること
3	抽出ボタン	C	[対象年] + [対象月] で指定された年月の退避フォルダ内の電文データファイルの情報を [古い電文一覧] に表示する。	
4	検索文字列	C	電文を検索する文字列を入力する。	
5	検索区分	C	検索対象の区分 (一覧の項目) を指定する。	
6	検索ボタン	C	指定した検索文字列で [古い電文一覧] 上の電文を検索する。	
7	選択チェックボックス	C	送受信電文一覧に表示したい古い電文を指定する。	
8	送受信電文一覧に表示ボタン	C	選択した古い電文を送受信電文一覧に表示する。	

表 7-27 出力項目表

項番	項目名	出力形式
1	古い電文一覧	[対象年] + [対象月] で指定された年月の退避フォルダ内の電文データファイルの情報を [古い電文一覧] に、送受信時刻の降順で出力する。
2	フォルダ名	“送信済み”：送信済み電文、“受信”：受信電文 “受信Y” +利用者フォルダ名称：利用者フォルダ
3	A/S	Air/Sea 識別
4	業務コード	業務コード+画面コード
5	出力コード	出力情報コード
6	入力 No	入力情報特定番号
7	業務固有情報	業務固有情報
8	送受信時刻	送受信時刻

表 7-28 ファイルメニュー

項番	項目名	ショートカット	説明
ファイル(F)			
1	古い電文の削除(D)		[対象年] + [対象月] で指定された年月の退避フォルダ内の全ての電文データファイルを削除する。(*1)
2	終了(X)		[古い電文一覧] 画面を閉じる。

(*1) 古い電文の削除処理の前には、確認メッセージで削除するかを問合せを行う。

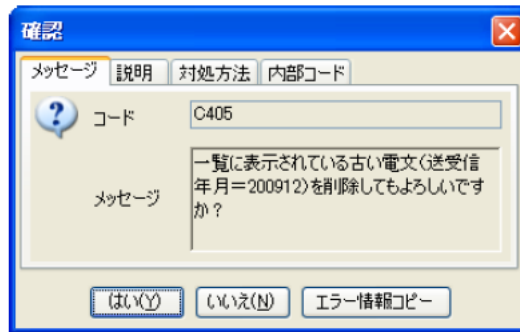


図 7-35 古い電文の削除確認メッセージ

表 7-29 古い電文の削除確認メッセージボタン一覧

項番	ボタン名	説明
1	はい	一覧に表示されている古い電文を削除する。
2	いいえ	一覧に表示されている古い電文の削除をキャンセルする。

表 7-30 編集メニュー

項番	項目名	ショートカット	説明
編集(E)			
1	全てチェック(A)	Ctrl+A	全ての選択チェックボックスをチェック状態にする。
2	全てチェック解除(C)	Shift+Ctrl+A	全て選択チェックボックスのチェック状態を解除する。
3	選択範囲チェック(R)	Ctrl+R	範囲選択されている電文の選択チェックボックスをチェック状態にする。
4	選択範囲チェック解除(Q)	Shift+Ctrl+R	範囲選択されている電文の選択チェックボックスのチェック状態を解除する。

(3) 後条件

- ・ 処理した電文データファイルの情報を[古い電文一覧]から削除する。

(4) 進捗状況

処理中には進捗ダイアログにより処理の進捗状況を表示する。

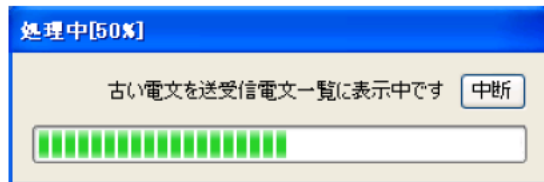


図 7-36 古い電文の送受信電文一覧表示の進捗ダイアログ